



本市は国際認証制度であるセーフコミュニティ認証の取得を目指しています。

セーフコミュニティいすみおおつ

第
9
回

第4回対策委員会を開催

課題のトップ3を出し、 重点課題について考えました



リーフレットとポスター



が思ふ課題のトップ3を出し合
い、対策委員会としての重点課
題について考えました。今後も、
重点課題についての検討を進
め、課題に向けた取り組みなど
を考えいく予定です。

2月に第4回分野別対策委員
会が開催されました。
対策委員会は「交通安全」・「高
齢者の安全」・「自殺予防」、そ
して「子どもの安全」・「犯罪防
止」・「災害安全」の組み合わせ
での合同開催となりました。

今回のワークショップは過去
2回と異なり、対策委員会ごと
にまとまって行われ、はじめに
前回検討した統計データなどか
らの地域の客観的な課題につい
て再確認を行いました。その後、
これまでのワークショップで検
討した内容を踏まえ、それぞ
れ

セーフコミュニティリーフ レット・ポスターを作製

現在進めているセーフコミュニ
ティいすみおおつの取り組み
を市民の皆さんに広く知つても
らうため、リーフレット・ポス
ターを作製しました。

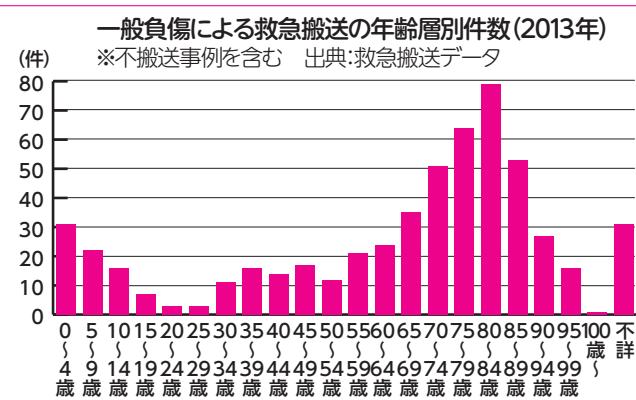
65歳以上の高齢層で多いこと
(左図)や「転倒・転落」に対
して多くの高齢者が不安に感じ
ていることなどから、高齢者の
事故・けがを予防することを目
的に委員会が設置されました。

一般負傷による救急搬送が、
65歳以上の高齢層で多いこと
(左図)や「転倒・転落」に対
して多くの高齢者が不安に感じ
ていることなどから、高齢者の
事故・けがを予防することを目
的に委員会が設置されました。

第4回分野別対策委員会を 開催

「高齢者の安全対策委員会」

高齢者の安全対策委員会は、
社会福祉協議会や民生委員児童
委員協議会、老人クラブ連合会
など14人の委員で構成していま
す。



市の重点的課題として何に取り組むべきかを協議しています

対策委員会での議論も、3回目が終わりました。6つの対策委員会は、泉大津市の
重点的課題として何に取り組むべきかを協議しています。委員の皆さんには、自分たち
の経験に加え、さまざまなデータをみながら泉大津市の課題について検討しています。
さまざまな側面を考慮しながら検討しますので、時間がかかりますが、ここでしっかりと
時間をかけておくことで、今後、実情にあった対策を検討する際に役立ちます。
委員の方たちの活発な議論が期待されます。

JISC 代表理事
白石陽子氏のコメント

